

岩高短歌  
『ワタシタチノウタ』  
令和八年度月間優秀賞作品 四月

発行者  
岩出山高校  
国語科

【四月】 「春」 「日差し」 「出会い」

月間賞

日差し浴び春の風吹くこの道でまだ見ぬ誰かと出会い待つ朝

第二席

雨の駅偶然となり座った日二度と会えない人と知りつつ

第三席

春の朝机をはさんで腕相撲初めて話す君と笑った

桜散り川を流れる花イカダ自分も流す叶わぬ願い

やわらかな日差しが照らす春の中目を覚ましてる尊き命

優良賞

春になりあの日を思い振り返る  
会いたくなるな笑顔の君に

気が付けば桜散りゆくこの頃に  
あなたはひとつ上に行くのね

放課後の予定も特にないけれど  
帰る理由もまだ見つからない

青い空桜の下で待つ君の髪をなでてる春のそよ風

始まりと終わりが行き交うこの時は  
誰であろうと上を見上げる

初めての後輩できた二年生新たな出会いに大きな期待

初登校ドキドキだった教室に  
落ち着かぬ日からもう2年たち

暖かい鱗が光る春の川楽しく泳ぐフナとアカハラ